

平成26年度
一般社団法人神奈川県作業療法士会
第1回 代議員総会

議案書

期日：平成26年5月17日（土）

午後3時30分～午後5時

会場：かながわ労働プラザ 3階多目的ホール

住所：神奈川県横浜市中区寿町1-4

一般社団法人 神奈川県作業療法士会

事務所

〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル 301

Tel&Fax：045-663-5997 <http://kana-ot.jp/>

E-mail：jimu@kana-ot.jp

（JR根岸線関内駅より徒歩10分）

目 次

総会次第	1
一般社団法人神奈川県作業療法士会 中・長期計画	2
第1号議案 2013年度(平成25年度)事業報告	4
第2号議案 2013年度(平成25年度)決算報告ならびに監査報告	15
第3号議案 一般社団法人神奈川県作業療法士会各種規程の変更について	15
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 費用弁償規則(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 総会規則(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 理事会規則(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 資産管理規程(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 委員会規則(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 事務局規則(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 文書管理規程(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 情報公開規程(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 個人情報保護規程(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 役員選挙規程(案)	
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 公印管理規程(案)	
第4号議案 一般社団法人神奈川県作業療法士会休会及び復会規程(案)と 一般社団法人神奈川県作業療法士会学会文書取扱規程(案)の制定について	16
第5号議案 2014年度(平成26年度)事業計画(案)	16
第6号議案 2014年度(平成26年度)予算(案)	23
第7号議案 名誉会員の承認について	23

資 料

・平成25年度 後援・協賛等一覧	24
・平成25年度 賛助会員一覧	24
・平成25年度 他組織・団体等の県士会代表委員名簿	25
・一般社団法人神奈川県作業療法士会 組織図	26
・第3期(平成25年度)理事・監事名簿	27
・第3期(平成25年度)各部・委員名簿	28
・各部・委員会分掌事項	29
・一般社団法人神奈川県作業療法士会会員実態調査結果(平成24年度版)	31
・第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会	33

平成 26 年度 一般社団法人神奈川県作業療法士会

第 1 回 代議員総会 総会次第

1. 開会のことば
2. 議長団選出（議長、副議長）
3. 総会役員選出（書記、議事運営委員、議事録署名人）
4. 会長挨拶
5. 議事運営委員会報告
6. 総会成立宣言
7. 議案
 - 第 1 号議案 2013 年度（平成 25 年度）事業報告
 - 第 2 号議案 2013 年度（平成 25 年度）決算報告ならびに監査報告
 - 第 3 号議案 一般社団法人神奈川県作業療法士会各種規程の変更について
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 費用弁償規則（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 総会規則（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 理事会規則（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 資産管理規程（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 委員会規則（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 事務局規則（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 文書管理規程（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 情報公開規程（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 個人情報保護規程（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 役員選挙規程（案）
 - ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 公印管理規程（案）
 - 第 4 号議案 一般社団法人神奈川県作業療法士会休会及び復会規程（案）と
一般社団法人神奈川県作業療法士会学会文書取扱規程（案）の制定について
 - 第 5 号議案 2014 年度（平成 26 年度）事業計画（案）
 - 第 6 号議案 2014 年度（平成 26 年度）予算（案）
 - 第 7 号議案 名誉会員の承認について
8. 議長団の解任
9. 閉会のことば

(一社) 神奈川県作業療法士会 中・長期計画

(2015～2018 年度)

社団法人神奈川県作業療法士会次期4か年計画

神奈川県作業療法士会では、2011年度から2014年度の4か年の中・長期計画を設定しているが、2015年度からの計画を検討する時期に来ている。このため、2014年度で完結する計画をもとに、先の計画案に準じて理事任期を考慮し、日本作業療法士協会が策定している次期の5か年計画を参考に、社団法人神奈川県作業療法士会次期4か年計画の骨子を提案する。

1 目的

県民に対して、質の高い作業療法を提供するため、会員個々の専門性、経験年数などに対応した知識・技術の向上を図ることを目的とする。このためには、積極的に自己研鑽できる機会の提供とそれを支える学術的基盤のさらなる整備が必要である。

2 計画期間

2011年度策定の計画に従い、全体の長期的な期間を4年間、このうち中期的期間として、前期(2015、2016年度)・後期(2017、20168年度)の各2年間とする。

3 中・長期計画の内容

1) 長期計画

- (1) 知識・技術の研鑽
- (2) 県民への作業療法の提供と普及
- (3) 会員の県士会活動へ積極的に参加できる体制の整備

2) 中期計画

- (1) 学術的基盤のさらなる強化ならびに整備

県民の健康を支える学術団体として、学会活動などを通して会員の知識、技術の蓄積の継続、さらなる作業療法効果の検証を通して学術基盤の整備を実施する。

- (2) 臨床的課題への取り組み

医療・福祉サービスを必要としている県民に対し、必要にして十分なサービス提供できる知識・技術を向上する。

- (3) 卒後教育の充実

新たな生涯教育制度を基に積極的に自己研鑽できる体制を整備する。

(4) 県士会組織への所属意識の向上

WFOT 開催をきっかけとして、県内会員相互の交流の強化・持続。公益性を求められる一般社団法人の会員であるという自覚、社会的責任を再確認できる組織づくりを展開する。

また、会員一人ひとりのニーズに応えられるよう、各部・委員会から効率的・効果的な情報提供の検討を通し、組織としての一体感を高められるような法人の運営をめざす。

(5) 作業療法の普及・啓発

学術団体として患者・家族会などの団体を支援することを通して、より有効な当事者支援を検討する。また、広く県民に対して、作業療法の広報活動を持続する。広報媒体の工夫と広報先を再検討する。

(6) 県内関係団体との交流の強化

法人格を一段高めるためにも、また、公益社団格が与えられた場合には特に強化すべき課題。神奈川県医療専門職連合会をはじめとした、各種関係団体との定期的、継続的な交流・折衝のさらなる強化を進める。

(7) 法人管理と運営

事務局機能の強化、定款など法的な整備、法人に関わる情報の整備と管理を徹底する。

(8) 公益社団法人への移行の検討

一般社団法人と公益社団法人とのメリット・デメリットに関する情報および検討の場を提供する。

第1号議案 2013年度（平成25年度）事業報告

事務局

事務局長 澤口 勇

1. 総会の実施

(1) 第5回定期総会

日時：平成25年4月21日（日）16：55～17：40

場所：国際医療福祉大学 小田原保健医療学部5階B-502/503講義室

正会員数：1798名、総会出席者60名、委任状701名、議決権の総数761名で定足数（正会員数の1/3）を満たし、総会成立。第1号～第5号議案成立。

(2) 第1回臨時総会

日時：平成25年10月5日（日）16：00～17：00

場所：横浜YMCA学院専門学校6階608号室

正会員数：1849名、総会出席者名33名、委任状1148名、議決権の総数1181名で定足数（正会員数の1/3）を満たし、総会成立。しかし、第1号議案である定款の変更に必要な議決権の総数1387名（正会員数の3/4）を満たしておらず、第2号議案のみ成立。

第2回目の臨時総会を実施することが、第3号議案として提案され、承認された。

(3) 第2回臨時総会

日時：平成25年11月14日（木）19：00～19：30

場所：横浜YMCA学院専門学校6階606号室

正会員数：1856名、総会出席者名27名、委任状1439名、議決権の総数1466名で定足数（正会員数の1/3）を満たし、総会成立。また、定款の変更に必要な議決権の総数1392名（正会員数の3/4）を満たしており、第1号議案が成立。

2. 三役会・理事会の開催及び運営：三役会6回、理事会6回 計12回

(1) 三役会

第1回 平成25年 5月16日（木）

第2回 平成25年 7月 2日（水）

第3回 平成25年 9月 4日（水）

第4回 平成25年11月 6日（水）

第5回 平成26年 1月29日（水）

第6回 平成26年 3月 2日（水）

(2) 理事会

第1回 平成24年 5月27日（木）

第2回 平成24年 7月11日（木）

第3回 平成25年 9月13日（金）

第4回 平成25年11月14日（木）

第5回 平成26年 2月 6日（木）

第6回 平成26年 3月13日（木）

3. 会員・関連団体に対する窓口業務
 - (1) 平成 25 年度入会者：165 名
 - (2) 郵便收受：967
4. 文書・資料等の管理
 - (1) 公文書発行：第 611 号～第 736 号、計：773 通（平成 26 年 2 月 28 日現在）
5. 資産の維持・管理に関すること
6. 介護認定審査会審査会や自立支援法等に関する役員派遣等の窓口業務
 - (1) 県内 7 市町村（横浜市、平塚市、川崎市、厚木市、小田原市、相模原市、藤沢市）より
依頼あり
7. 県士会会員の情報統計の作成及び管理
 - (1) 県士会会員データベースの管理・運用
 - (2) 県士会会員データベース運用方法の見直し
 - (3) 神奈川県士会会員実態調査結果（平成 24 年度）の作成と分析
 - (4) 神奈川県士会会員実態調査実施の検討
8. 県内 O T 養成校卒業見込み在校生への県士会入会勧誘活動の実施
9. WFOT2014 世界大会への協力
10. その他各部に属しないことに関すること
 - (1) 平成 25 年度神奈川県精神障害者スポーツ大会実行委員への役員派遣一名
11. 会議開催
 - (1) 事務局内全体会議の開催（年 2 回）
 - (2) 事業内容ごとに班会議（年 5 回）
 - (3) 財務部との拡大事務局会議（年 2 回）

部 財務部

部長 野々垣睦美

1. 収入および支出の管理
2. 予算にそって各部、委員会への配分
3. 会費請求書（銀行口座引落とし書類）送付
5 月・11 月、銀行口座引落とし書類を送付
4. 各部・委員会会計担当者へ会計マニュアル説明会開催（平成 25 年 7 月 6 日）

学術部

部長 福留大輔

1. 研修会事業

計 8 つの研修会を企画・開催

なお実習指導者養成講座及び職場管理者養成講座は神奈川県からの委託事業として企画・開催

(1) 分野別講習会

1) 身体障害分野 (3回)

①『高次脳機能障害の基礎～脳画像からみる高次脳機能障害の解釈のしかた～』

日程：平成 25 年 9 月 28 日 会場：中外製薬株式会社 横浜支店 会議室

講師：早川裕子氏（横浜市立脳血管医療センター）

受講者：105 名

②『いまさらきけない？ 肩関節の評価・訓練』

日程：平成 26 年 1 月 26 日 会場：公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター

講師：鴻井建三氏（公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター）

受講者：61 名

③『CI セラピーのすべて』

日程：平成 26 年 3 月 30 日 会場：ウィリング横浜

講師：田邊浩文氏（自衛隊中央病院）

受講者：74 名

2) 精神障害分野 (3回)

①『対象者の行動からその思いを理解する～事例検討を通して～』

日程：平成 25 年 7 月 27 日 会場：ウィリング横浜

講師：鶴見隆彦氏（法務省）

受講者：31 名

②『確認しておきたい診療報酬制度 知っておきたい精神保健医療福祉制度の動向』

日程：平成 25 年 9 月 29 日 会場：ウィリング横浜

講師：水堀義則氏（秦野厚生病院 事務長）

受講者：17 名

③『実践報告会』

日程：平成 25 年 1 月 26 日 会場：横浜 YMCA 学院専門学校

講師：安藤辰雄氏、金木貴芳氏（日吉病院）

望永和美氏（地域相談支援センターひまわり）

受講者：14 名

(2) 生涯教育講座（実習指導者養成／職場管理者養成）

1) 実習指導者養成講座

『指導者にも実習生にもやさしい実習とは』

日程：平成 25 年 12 月 7 日 会場：横浜 YMCA 学院専門学校

講師：中西浩司氏（北里大学東病院）

佐藤良枝氏（曽我病院）

神保洋平氏（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校）

石川哲也氏（済生会神奈川県病院）

受講者：27 名

2) 職場管理者養成講座

『作業療法士のための物理療法の基礎』

日程：平成 26 年 2 月 1 日 会場：横浜リハビリテーション専門学校

講師：荒井慧氏（伊藤超短波株式会社）

清水誠悟氏（酒井医療株式会社）

林慎也氏（新横浜リハビリテーション病院）

片岡直人氏（新戸塚病院）

受講者：82 名

2. 学術誌刊行事業

『神奈川県作業療法研究（The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research）Vol.4』
を発刊。

3. 研究助成事業

1) 研究代表者：笹田哲氏（神奈川県立保健福祉大学）

研究課題：『神奈川県小学校特別支援学級に対する作業療法の介入方法に関する研究』

2) 研究申請

研究代表者：松岡太一氏（福井記念病院）

研究課題：『作業に焦点を当てた実践が長期入院統合失調症者の精神症状やQOLに及ぼす効果の検証』

以上の 2 課題を承認した。

教育部

部長 奥原孝幸

1. 研修会開催 *生涯教育制度基礎研修（必修研修）

(1) 現職者共通研修；全 10 テーマ開催

(2) 現職者選択研修；2 領域開催（全 4 領域のうち）

<2012年度 現職者（共通・選択）研修一覧>

現職者研修	共通	テーマ	講師	開催日	会場	参加者数	
		作業療法生涯教育概論	奥原孝幸氏	H25.9.28	横浜リ	35	
		作業療法の可能性	錠内広之氏	H25.9.28	ハビリ	39	
		作業療法における協業・後輩育成	鈴木孝治氏	H25.9.28	テーシ	36	
		実践のための作業療法研究	鈴木久義氏	H25.9.29	ョン専	43	
		保健・医療・福祉と地域支援	木下 剛氏	H25.9.29	門学校	44	
		日本と世界の作業療法の動向	神保武則氏	H25.9.29		42	
		事例報告と事例研究	長雄眞一郎氏	H25.11.3	ウイリ	39	
		職業倫理	浅井憲義氏	H25.11.3	ング	39	
		事例検討		H26.3.2	横浜	34	
		事例報告		H26.3.2		38	
						小計	389
	選択	精神障害領域の作業療法	長雄眞一郎氏 他	H26.2.11	ウイリ ング	37	
発達障害領域の作業療法		岸本光夫氏他	H26.2.23	横浜	38		
					小計	75	
					合計	464	

(3) 事例報告登録制度研修会

講師：奥原孝幸氏（OT協会教育部生涯教育推進担当者・昭和大学）

開催日：平成25年11月3日（日）10：30～12：00

会場：ウイリング横浜

参加者：33名

2. 生涯教育制度の広報、啓蒙、推進

県士会ウェブサイト、県士会ニュースを通じた広報

3. SIG団体の登録管理

2団体を認定

4. 生涯教育制度に関する手続き

ポイント申請手続きの実施など

5. その他生涯教育制度関連事項

ウェブサイトやメール等での問い合わせへの対応

広報部

部長 出口弦舞

1. 部会の開催 2回

- (1) ニュース編集及び対外広報に関する検討
- (2) 広報グッズ、イベントグッズ、作成の検討および作成
- (3) OT協会事業との連携
- (4) 医療専門職連合会広報部との協力

2. 班活動（ニュース編集／対外広報）

(1) ニュース編集班

1) ニュースの発行：平成25年5月（161号）～平成26年3月（166号）

①発行回 年6回 ②発行月 奇数月末 ③印刷部数 1,870部（164号）

④発行部数 1,870部（164号）正会員 1747部、賛助会員・他団体 123部

⑤規格 A4縦 12～20頁 ⑥求人広告の掲載

2) 運営

編集長（班長）1名 班員4名

編集長は理事会に出席

3) ニュースの印刷発送作業

レイアウト・印刷・発注作業ともに第一資料印刷(株)に委託。発行作業時間を短縮し、部員の負担を軽減させた。

(2) 対外広報班（作業療法啓発活動）

1) 運営：班長1名 会計1名 企画長3名 班員8名

班長・会計・企画長は広報部会に出席。

班長は理事会に2回出席。

2) 対外広報活動：一般県民・学生・関連職種に対しそれぞれ活動継続

①一般県民を対象とした活動

- ・ヨコハマヒューマンテクノランド（YOTEC）への体験ブース出展 7月
- ・ラジオ日本『峰竜太のミネスタ「すこやか介護」コーナー』の出演 8月/3月
- ・相模原市民祭り「さくら祭り」での体験ブース出展 4月
- ・中区民祭「ハローよこはま」での体験ブース出展 10月

②学生を対象とした活動

- ・新宿セミナーでの相談ブース出展 7月
- ・教員・学生対象とした「作業療法ガイダンス」の企画（中止）
- ・学生対象とした施設見学・説明の実施 8月
- ・中学校・高校へ学生用パンフレットの郵送 7月

③関連職種を対象とした活動

- ・地域リハビリテーションフォーラムでのブース出展 2月
- ・神奈川県介護支援専門員研究大会へのブース出展 2月

④広報促進活動

- ・ウェブサイトへの対外広報ブログの作成
- ・広報促進グッズの作成
- ・中・高校生向け職業紹介マガジン「さくらノート」編集者との情報収集

福利部

部長 吉本 雅一

1. 新入会員オリエンテーションおよび歓迎会の開催

日程：平成 25 年 9 月 28 日（土） 会場：横浜リハビリテーション専門学校

参加者：新入会員 16 名、現職者会員 17 名、県士会理事 9 名 総計：42 名

2. 求人・求職の登録および情報提供

(1) 県士会ウェブサイトへの求人情報の掲載依頼受付

新規掲載依頼延べ総件数：138 件

(2) 求職者・ウェブサイトへの求人情報掲載希望施設等の問い合わせへの情報提供・相談業務の実施

(3) 求人・求職者が利用しやすいような円滑なシステムの作成

3. 各種表彰活動

(1) 日本作業療法士協会の表彰規定の改定を受け、神奈川県作業療法士会の特別表彰対象者の推薦方法と運用の方法を策定

(2) 神奈川県内における日本作業療法士協会特別表彰に該当する方々の検索・推薦等の実施
2013 年度の特別表彰候補者は 0 名

4. 倫理問題についての対応業務

日本作業療法士協会倫理要綱の遵守と職業倫理の徹底と日本作業療法士協会との連携強化

2013 年度の倫理相談窓口への相談は 2 件

5. 各領域に特化した職場見学会の開催

(1) 2013 年度第 1 回職場見学会 老年期編

日時：平成 25 年 11 月 27 日（水）

会場：社会福祉法人 湘南愛心会 介護老人保健施設かまくら

講師：鈴木啓太氏 参加者：6 名

(2) 2013 年度第 2 回職場見学会 精神分野編

日時：平成 25 年 11 月 28 日（木）

会場：医療法人社団 青木末次郎記念会 あつぎ心療クリニック

講師：有賀和哉氏 参加者：7 名

(3) 2013 年度第 3 回職場見学会 身体障害編

日時：平成 26 年 3 月 1 日（土）

会場：医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院

講師：木村達氏 参加者：10 名

地域リハビリテーション部

部長 木村修介

1. 研修担当

以下の研修会等を開催

研修会名	講師	開催日	会場	受講者数
第 3 回 OT・PSW 合同研修会	吉田衣美氏 他 4 名	H25/8/31	ウィリング横浜	48 名 (PSW 含)
第 4 回 訪問リハビリテーション 実務者研修会	深澤立氏 他 9 名	H25/ 9/21・22	横浜リハビリテー ション専門学校	66 名 (PT, ST 含)
訪問リハビリテーション 地域リーダー研修会 2013	小島誉寿氏 他 3 名	H25/12/8	横浜リハビリテー ション専門学校	54 名 (PT, ST 含)
訪問リハビリテーション 地域リーダーミーティング 2013	相川浩一氏	H26/2/23	横浜ワールド ポーターズ	42 名 (PT, ST 含)
計				210 名

2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及のため下記事業を実施

(1) 認知症関連スキルの普及（インタビュー 2 回）

163 号、164 号掲載 → 村井千賀氏（石川県立高松病院）

165 号、166 号掲載 → 石井利幸氏（ひもろぎの園）

(2) 難病（ALS）支援スキルの普及

1 回の講習会を実施（参加者 36 名）。またメーリングリストやブログで情報を発信。

(3) 就労支援の情報をウェブサイトに掲載

県士会サイト地域リハ部コンテンツに専用ページを作成

(4) 特別支援学校を中心としたタウンミーティング

未実施

(5) 訪問リハ事業所のウェブサイト掲載（神奈川県内全事業所）

ウェブサイト内コンテンツ「地域の“輪・和・わ”」に掲載中。今年度より理学療法士、言語聴覚士の所属事業所も掲載可とした

(6) 訪問リハに特化した組織づくりへの協力

2014年4月に神奈川県訪問リハビリテーション協議会を設置することが決定。来年度以降、訪問リハに関わる研修会等は協議会に移行。

(7) 生活行為向上マネジメントの普及活動

各施設にて説明会を実施(2施設)

3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施

(1) 障がい者団体の活動調査

各団体の発行・発刊物にて活動を把握

(2) IT活用による施設間連絡の可能性の調査

HCRでの情報収集、ベンチャー企業との情報交換、神奈川県リハビリテーション協議会連携指針検討部会および神奈川県リハビリテーション協議会への代理出席

(3) 「認知症初期集中支援チーム」の情報収集

県士会ニュースに記事を掲載。協会主催の研修会に参加。

常設委員会

規約委員会

委員長 鈴木久義

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討

代議員制度導入に伴う定款変更の変更、代議員選挙規程、福利部特別表彰推薦・運用内規、学会文書取扱規程の制定を行った。

2. 法人変更登記の申請

役員の重任、退任及び就任に関する変更登記申請を平成25年5月2日に横浜地方法務局に対して行い、届けが受理された。

3. 公益社団法人取得に向けての準備

本会の公益社団法人移行に係る諸情報を引き続き収集した。

4. 他都道府県士会における法人設立・変更登記の支援

今年度は支援の実績はなかった。

福祉用具委員会

委員長 沼田 一恵

1. 福祉用具に関する情報収集・提供

「福祉用具相談支援システム」の開始。アドバイザー4名設置。相談数2件。

2. 福祉用具に関する研修会の開催

研修名	講師	開催日	会場	参加者
PT・OT スキルアップ 研修 基礎編	長谷川拓氏 中川翔次氏	H25/8/4、9/1	ウィリング横浜	OT14名
PT・OT スキルアップ 研修 上級編	内田亜紀氏 大寺亜由美氏 渡邊慎一氏	H25/11/16、12/15	ウィリング横浜	OT5名
自助具を作ろう	安東徹郎氏 横川匡昭氏	H25/9/7、9/21、10/5、 10/19、11/2、11/16	かながわ県民 センター自助具 工房	全6回 参加者合計 OT21名

3. 他職能団体よりの講師派遣等に関すること

国際福祉機器展協力・・・福祉用具相談コーナーへ相談員を派遣した。

4. 部会の開催 年2回

5. 委員 12名

社会保障制度対策委員会

委員長 三浦慈子

1. ブログによる保険情報の伝達

ブログによる日本作業療法士協会保険部の情報を平均月1回発信した。

2. 新人作業療法士を対象にした社会保障制度に関する講習会の実施

障害者総合支援法講習会を開催

日時：平成25年11月9日(土) 会場：国際医療福祉大学

講師：内田暁子氏・清水郁東氏(小田原市役所障がい福祉課)

参加者：22名

3. 部会の開催 年3回

ウェブサイト管理委員会

委員長 作田 浩行

1. 県士会サイトの管理とアクセス件数 ※H25年12月末現在

	更新件数				アクセス件数		
	総件数	講習会	求人情報	その他	全ページの 総プレビュー数	1日あたりの プレビュー数	カウンター
H25/04	45	27	8	10	92699	3090.0	5861
05	54	28	17	9	94544	3049.8	5250
06	52	25	13	14	90211	3007.0	4662
07	77	34	19	24	93152	3004.9	4991
08	60	31	19	10	86009	2774.5	4819
09	46	19	21	6	87698	2923.3	4791
10	61	28	13	20	99505	3209.8	5323
11	50	22	19	9	87788	2926.3	5245
12	56	30	18	8	69361	2237.5	4860
合計	501	244	147	110	800967	平均 2912.6	45802
前年との比較	-33	+9	+5	-47	+56784	平均+206.5	-9684

2. 新着メールマガジン「kanaからの手紙」の発信

登録者数：179名、発行数：180件 ※H25年12月末現在

3. Twitter・Facebook

Twitter フォロワー：243名、Facebook いいね！：111名 ※H25年12月末現在

4. 県士会サイトの広報

県士会ニュースに、県士会会員への県士会サイト周知を目的に記事を掲載している

5. 県学会および県大会のIT支援

第15回神奈川県作業療法学会の開催へ向けてIT支援を実施している

6. 一般向けページの作成と充実化

広報部 対外広報班 監修のもと、一般向けコンテンツ「作業療法を知りたい (<http://kana-ot.jp/wpc/kanakouhou/>)」を制作した

学会評議委員会

委員長 内山 博之

1. 第14回神奈川県作業療法学会の開催とまとめ

開催日：2013年（平成25年）4月21日（日）

会場：国際医療福祉大学小田原保健医療学部

- 学会長：菅原洋子氏（国際医療福祉大学小田原保健医療学部） 参加者：484名
2. 第15回神奈川県作業療法学会の実行委員会設置の支援及び連絡調整
学会長：水島真由美氏（横浜リハビリテーション専門学校）
開催日：2015年（平成27年）4月開催予定
 3. 委員会の開催 5回
 4. 神奈川県作業療法学会（臨床作業療法大会）文書取扱い規則・学会記録集作成

企画調整委員会

委員長 鈴木孝治

1. 各部から各年度初めの事業計画と年度終了時の報告が速やかに提出され、法人内の事業の確認がスムーズに進められた。
2. 代議員制度対策委員会の活動により、代議員制を導入することができた。
3. 次期4か年計画の原案を提案できた。

特設委員会

代議員制度対策委員会

委員長 錠内広之

1. 会議開催
メール討議を必要に応じ随時開催した。
2. 県士会ニュースによる報告
No.162では定款の改訂についてNo.164では代議員選出方法について報告した。
3. パブリックコメントの募集
平成25年8月1日～15日まで、ホームページにおいてパブリックコメントを募集した。
4. 定款の改訂
臨時総会において定款の改訂を審議し承認された。
5. 代議員選挙規程の新設
臨時総会において代議員選挙規程の新設について審議し承認された。

第2号議案 2013年度（平成25年度）決算報告

ならびに監査報告

1. 2013年度決算報告（別紙記載）
2. 監査報告（別紙記載）

第 3 号議案 一般社団法人神奈川県作業療法士会

各種規程の変更について

- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 費用弁償規則（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 総会規則（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 理事会規則（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 資産管理規程（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 委員会規則（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 事務局規則（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 文書管理規程（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 情報公開規程（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 個人情報保護規程（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 役員選挙規程（案）
- ・一般社団法人神奈川県作業療法士会 公印管理規程（案）

*別紙記載

第 4 号議案 一般社団法人神奈川県作業療法士会休会及び

復会規程(案)と一般社団法人神奈川県作業療法

士会学会文書取扱規程(案)の制定について

*別紙記載

第 5 号議案 2014 年度（平成 26 年度）事業計画（案）

事務局

事務局長 澤口 勇

1. 総会の実施

(1) 第 1 回代議員総会

日時：平成 26 年 5 月 17 日（土）15:30～

場所：かながわ労働プラザ

2. 三役会・理事会の開催及び運営

(1) 三役会 第 1 回 調整中

第 2 回 平成 26 年 7 月 2 日（水）

- 第3回 平成26年 9月3日(水)
- 第4回 平成26年11月 5日(水)
- 第5回 平成27年 1月28日(水)
- 第6回 平成27年 3月4日(水)
- (2) 理事会 第1回 調整中
- 第2回 平成26年 7月10日(木)
- 第3回 平成26年 9月11日(木)
- 第4回 平成26年11月13日(木)
- 第5回 平成27年 2月5日(木)
- 第6回 平成27年 3月12日(木)

- 3. 会員の管理に関すること
- 4. 会員・関連団体に対する窓口業務
- 5. 文書・資料等の管理
- 6. 資産の維持・管理に関すること
- 7. 介護認定審査会や自立支援法等に関する窓口
 - (1) 役員派遣等の依頼窓口
 - (2) 行政機関への渉外活動
- 8. 県士会会員の情報統計の作成及び管理
 - (1) 県士会会員データベースの管理・運用
 - (2) 神奈川県士会会員実態調査の今後の検討
- 9. 災害対策に関する情報収集
- 10. 県内 OT 養成校卒業見込み在校生への県士会入会勧誘活動
- 11. WFOT2014 世界大会への協力
- 12. その他各部に属しないことに関すること
- 13. 事務局内運営会議の開催
 - (1) 事務局内全体会議(年2回)
 - (2) 事務局内各班会議(年5回)
 - (3) その他必要と思われる部署(財務部など)との連携調整会議(年2回)

部 財務部

部長 野々垣睦美

- 1. 収入および支出の管理
- 2. 予算にそって各部, 委員会への配分
- 3. 会費請求書(銀行口座引落とし書類)送付

基本的には銀行からの引落としとし、手続きが済んでいない会員については郵便払込とする。

4. 事務局会議への出席

学術部

部長 福留大輔

県士会員に対する基礎教育以後の学術活動支援を目的とし、臨床実践能力の育成を目指す。また、会員間の知識・技術の共有を促進し、「ともに学び、助け合う」ことを援助する。事業内容は、研修会の企画・運営、学術誌編集・発行、研究助成事業運営の3事業を展開する。

1. 研修会事業

臨床専門領域の知識・技術向上を目的とする。

分野別講習会は身体障害分野と精神障害分野の2分野において各3～4回、生涯教育講座は、神奈川県委託事業として2回、全体で最大計9回の研修会を開催する予定。

(1) 分野別講習

身体障害領域をテーマに年3または4回

精神障害領域をテーマに年3回 合計6～7回を企画する。

(2) 生涯教育講座（神奈川県の委託事業として行う予定）

『実習指導者養成講座・職場管理者養成講座』をテーマに年2回

2. 学術誌刊行事業

県士会発展に寄与する研究・実践の知見を会員間で共有するとともに、県士会の研究・実践活動を内外へ広報すること目的とする。

『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research Vo5』の編集・発行を行なう予定。

3. 研究助成事業

会員間での知見の共有、活動の広報を目的とし、2課題を推薦予定

会員間での知見の共有促進のために、研究課題は複数法人の研究者から構成され、組織で課題にあたって頂き、また関連学会への応募や学術誌等への投稿にて成果を公表する予定。

教育部

部長 奥原孝幸

1. 研修会開催 *OT協会生涯教育制度基礎研修（必修研修）

(1) 現職者共通研修：全10テーマ開催

(2) 現職者選択研修：2領域以上の開催（全4領域のうち）

2. 事例報告登録制度の広報、事例報告登録推進研修会開催

日本作業療法士協会と連携しながらの県士会主催研修会の開催

3. 生涯教育制度の広報、啓蒙、推進

県士会ウェブサイトや県士会ニュースを通じたわかりやすい広報

4. SIGの登録管理、SIGに関する学術部との連携

(1) SIGの登録と管理

(2) SIG管理内規の作成

5. 生涯教育制度に関する手続き

ポイント手続きなどの制度関連手続きの広報と手続きの実施

6. その他生涯教育制度関連事項

県士会ウェブサイトやメールでの質問への素早い対応

広報部

部長 出口 弦舞

1. 部会の開催 年2回

2. OT協会事業との連携

3. 医療専門職連合会広報部との連携

4. 班活動(県士会ニュース/県民への対外広報)

(1) ニュース編集班

1) 運営

編集長(班長)1名 班員4名 *編集長は理事会に出席

2) ニュースの発行(167号~172号)

①発行回数 年6回 ②発行月 奇数月末

③印刷部数 部(予定) ④発行部数 会員1506部(賛助会員含む)+関連団体119部

⑤規格 A4縦 12~20頁

3) ニュース紙面のレイアウト・印刷・発送作業の委託

引き続き、レイアウト・印刷・発注作業ともに第一資料印刷(株)に委託。読みやすく美しい紙面構成をめざすとともに、部員の編集作業の負担を軽減する。発送用封筒の印刷も第一資料印刷(株)に委託する。

4) 会議開催

①ニュース編集会議 3回

②広報部検討会議 2回

③編集長は理事会に出席

(2) 対外広報班(作業療法啓発活動)

1) 運営:班長1名 会計1名 企画長2名 班員8名

2) 対外広報活動:一般県民・学生・関連職種に対しそれぞれ活動継続

①一般県民を対象とした活動

・ヨコハマヒューマンテクノランド(YOTEC)へのブース出展

・ラジオへの出演

- ・中区民祭「ハローよこはま」での健康ブース出展
- ②学生を対象とした活動
 - ・新宿セミナーでのブース出展
 - ・中学校・高校へ学生用パンフレットの郵送
 - ・中・高校生向け職業紹介マガジン「さくらノート」へのホームページ投稿
- ③関連職種を対象とした活動
 - ・神奈川県介護支援専門員研究大会へのブース出展
- ④広報促進活動
 - ・県士会パンフレット・広報促進グッズの作製

福利部

部長 吉本 雅一

神奈川県作業療法士会会員の福利厚生や活動発展に寄与し、研修会・交流会、ウェブサイトや県士会ニュース等を活用し、情報の提供・交換・発信や交流の活発化を推進していく。

1. 新入会員オリエンテーションおよび歓迎会の開催
内容：会員間の交流が活発となるよう企画・調整を行う。
2. 求人・求職の登録および情報提供
県士会ウェブサイトへの求人情報の掲載受付を行う。
求職者・ウェブサイトへの求人情報掲載希望施設等、問い合わせに対し情報提供・相談業務を行う。
求人・求職者が利用しやすいような円滑なシステムの作りを行う。
3. 各種表彰活動
神奈川県内における日本作業療法士協会の特別表彰規定に該当する方々の検索・推薦等を神奈川県作業療法士会の推薦・運用方法に基づき行っていく。
4. 倫理問題についての対応業務
日本作業療法士協会倫理要綱を遵守し、職業倫理を日本作業療法士協会と連携して徹底していく。
神奈川県作業療法士会会員に対し、倫理にもとる言動・対応（主にセクシャルハラスメント・パワーハラスメント等）があった場合の相談・対応業務を行う。
5. 領域やテーマ別の職場見学会の開催（年3回）
全ての会員を対象とし、他職場の会員と情報交換、スキルアップを行い、交流を図っていく。

地域リハビリテーション部

部長 木村修介

地域リハビリテーション部では、神奈川県内における在宅・施設で活躍する作業療法士に、知識・技術の提供をおこなうと共に、それぞれの連携を促し、ネットワークの構築に寄与する。

また会員だけではなく関係諸機関や障がい者など県民とのネットワークづくりにも努め、地域リハビリテーションがより円滑に実践されることを目指す。

1. 研修担当

- (1) 「第4回 OT・PSW 合同研修会」企画・開催
- (2) 「生活行為向上マネジメント講習会」企画・開催

※訪問リハ関連の研修会は平成26年度より神奈川県訪問リハビリテーション協議会の事業に移行。

2. 普及担当

地域リハビリテーションにおける作業療法の普及を目指す。

- (1) 認知症関連スキルの普及（インタビュー2回）
- (2) 難病（ALS）支援スキルの普及（年1回の講習会など）
- (3) 就労支援の情報をウェブサイトに掲載
- (4) 訪問リハ事業所のウェブサイト掲載（神奈川県内全事業所）
- (5) 神奈川県訪問リハビリテーション協議会との情報交換
- (6) 生活行為向上マネジメントの普及（施設説明会など）

3. 調査担当

地域リハビリテーションに必要な事業の調査を実施する。

- (1) 障がい者団体の活動調査
- (2) IT活用による施設間連絡の可能性の調査
- (3) 「認知症初期集中支援チーム」の情報収集およびその対応

常設委員会 規約委員会

委員長 鈴木久義

1. 定款、諸規則・規程の管理及び制定、変更、修正等の検討
2. 法人変更登記の申請準備
3. 公益社団法人取得に向けての準備、情報収集
4. 他都道府県士会における法人設立登記・変更登記の支援等

福祉用具委員会

委員長 沼田 一恵

1. 福祉用具に関する研修会の開催 年2回
2. 福祉用具に関する情報提供、相談支援事業

3. 他職能団体よりの講師派遣等に関すること
 - ・国際福祉機器展への協力
4. 部会の開催 年 3 回
5. 委員 12 名

社会保障制度対策委員会

委員長 三浦慈子

1. ブログによる保険情報の伝達
 - 作業療法士に関わる社会制度(医療保険・介護保険・自立支援法など)の情報収集及び伝達
2. 新人作業療法士を対象にした社会保障制度に関する講習会の実施
 - 10～11 月頃開催予定
3. 部会の開催 年 4 回

ウェブサイト管理委員会

委員長 作田浩行

1. 基本概念
 - IT 技術を活用することで、作業療法関連情報・県士会関連情報を確実に発信する
 - 一般の方：作業療法について知ることができる⇒作業療法を使いたい人、作業療法士になりたい人を増やす、県民の健康の増進に寄与する
 - 県士会員：県士会情報のデータベースとなる⇒いつでも県士会について必要な情報を閲覧できる
2. 活動計画
 - (1) 県士会サイトの企画・管理・運営
 - (2) 県士会電子メール<kaot@kana-ot.jp>の受付
 - (3) 県士会関連のメールアカウントおよびメーリングリストの管理
 - (4) 新着メールマガジン「kana からの手紙」の発信
 - (5) ウェブサイト管理委員会公式 Twitter および Facebook の管理・運営
 - (6) 県士会サイトの広報（県士会ニュースでのウェブサイト通信の掲載など）
 - (7) 県学会および県大会の IT 支援
 - (8) その他

学会評議委員会

委員長 内山 博之

1. 第 15 回神奈川県作業療法学会の実行委員会設置の支援及び連絡調整
 - 学会長：水島眞由美氏（横浜リハビリテーション専門学校）
 - 開催日：2015 年（平成 27 年）4 月開催予定

2. 委員会の開催 5回
3. 神奈川県作業療法学会（臨床作業療法大会）のサポートシステムの作成
4. 学会記録集作成
5. 今後のスケジュール

2014年度（平成26年度）	第16回世界作業療法士連盟大会
	第48回日本作業療法学会
2015年度（平成27年度）	第15回神奈川県作業療法学会
2016年度（平成28年度）	第2回神奈川県臨床作業療法大会
2017年度（平成29年度）	第16回神奈川県作業療法学会
2018年度（平成30年度）	第3回神奈川県臨床作業療法大会

企画調整委員会

委員長 鈴木孝治

1. 各部署同士で連携をもって、活動が円滑にできるための調整をする。
2. 次期4か年計画を実行する。

特設委員会

代議員制度対策委員会

委員長 錠内広之

1. 第一回代議員会の検証
第二回代議員会開催に向けた課題について理事会で審議する。

第6号議案 2014年度（平成26年度）予算（案）

1. 2014年度予算案（別紙記載）

第7号議案 名誉会員承認について

附 録

平成 25 年度開催 後援・共催等事業一覧

開催日	団体名	事業名	種類
2013 年 5 月 12 日	神奈川県保険医協会	第 22 回在宅医療・介護セミナー	後援
7 月 26 日 ～27 日	横浜市リハビリテーション事業 団	ヨコハマ・ヒューマン&テクノラ ンド 2013	後援
7 月 28 日	神奈川県医療労働組合連合会精 神部会	「むかし Motto の町があった」自 主上映会	後援
9 月 23 日	神奈川県在宅医療推進フォーラ ム運営委員会	第 3 回神奈川県在宅医療推進フォ ーラム	後援
10 月 5 日	神奈川県総合リハビリテーショ ンセンター	第 2 回かなりは リハ工学・福祉 機器フェスティバル	後援
10 月 19 日 20 日	<共催>日本物理療法学会／（公社）日本 理学療法士協会理学療法専門領域研究会 物理療法研究部会	第 21 回日本物理療法学会学術大会	後援
2014 年 1 月 25 日	県西地区リハビリテーション連 絡協議会	リハビリフェスタ 2014	後援
2 月 8 日	神奈川県総合リハビリテーショ ン事業団	第 10 回かながわ地域リハビリテー ションフォーラム	共催
2 月 16 日	神奈川県介護支援専門員協会	第 12 回神奈川県介護支援専門員 研究大会	後援
2 月 21 日	かながわ福祉サービス振興会	第 7 回神奈川県特定施設研究大会	後援
3 月 9 日	日本医療マネジメント学会 第 13 回神奈川支部学術集会	日本医療マネジメント学会 第 13 回神奈川支部学術集会	後援
3 月 21 日	一般社団法人神奈川県建築士会 技術支援委員会福祉部会	専門職連携による住宅改修研修会	後援
3 月 29 日	日本発達系作業療法学会	日本発達系作業療法学会第 2 回学 術大会	後援

平成 25 年度 賛助会員名簿

酒井医療株式会社 横浜営業所	株式会社 柴橋商会
昭和大学保健医療学部作業療法学科	株式会社 ヒューマン・アイ
作業療法総合研究所	株式会社 モノ・ウェルビーイング
医療法人社団のう救会脳神経外科東横浜病院	

平成 25 年度 他組織・団体等の県士会代表委員名簿

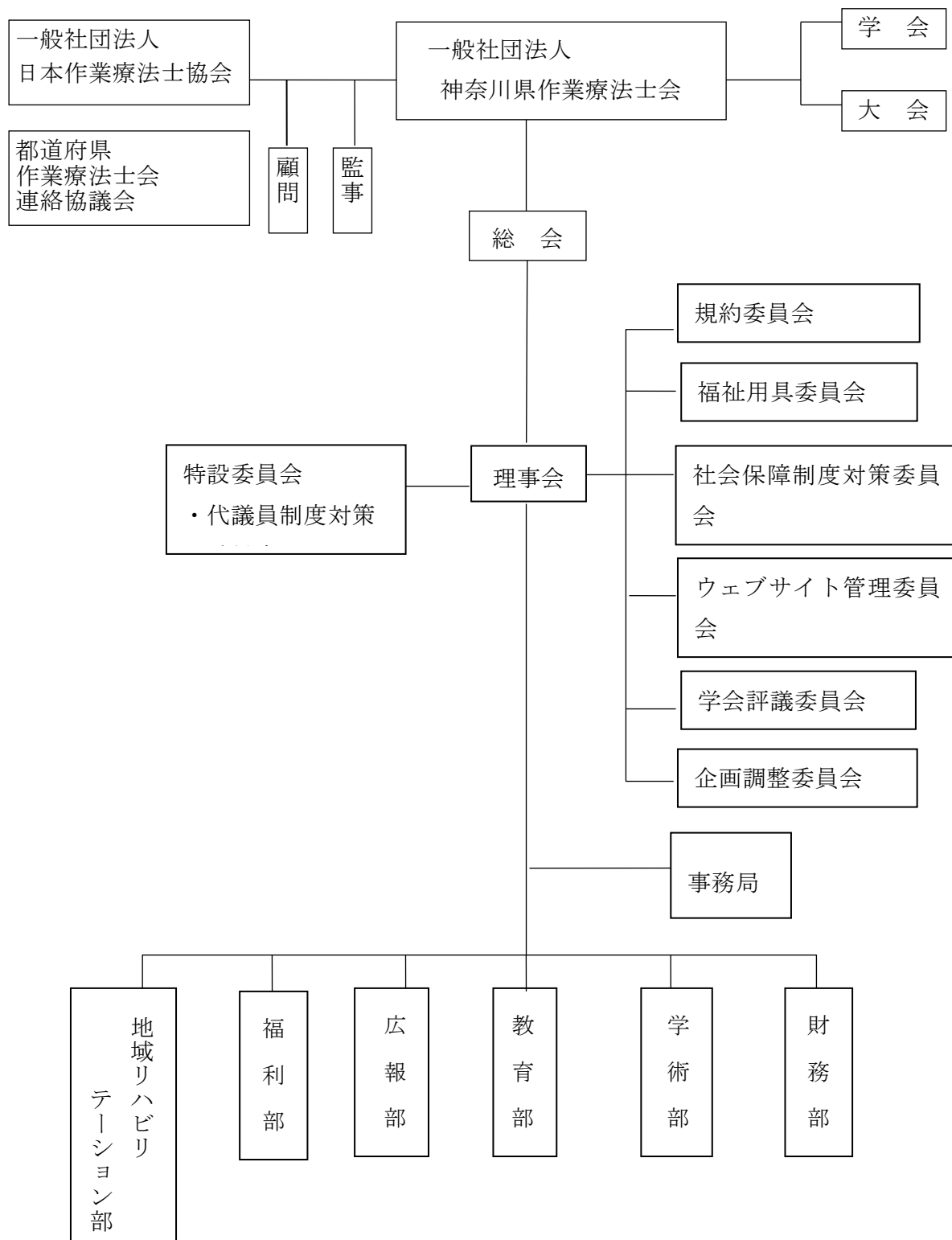
団体名	委員会名	役職	代表
神奈川県医療専門職連合会		理事	渡邊会長
		理事	錠内副会長
	広報委員会	委員	出口理事
神奈川県病院協会	学術委員会	委員	渡邊会長
神奈川県介護支援専門員協会		理事	錠内副会長
神奈川県リハビリテーション協議会		委員	渡邊会長
	連携指針検討委員会	委員	渡邊会長
介護事業ワーキンググループ(神奈川県)		委員	木村理事

一般社団法人 神奈川県作業療法士会

組 織 図

平成21年 4月19日

改訂：平成 24年 4月15日



第3期（平成25・26年度）理事・役員名簿

役職		氏名	勤務先	勤務体制
代表理事	会長	渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター	非常勤
理事	副会長	錠内 広之	日本鋼管病院	非常勤
理事	副会長	中西 浩司	北里大学東病院	非常勤
理事	事務局長	澤口 勇	藤沢病院	非常勤
理事	財務部	野々垣 睦美	クラウハウスつてっぷなな	非常勤
理事	学術部	福留 大輔	医療法人社団明芳会 ムス横浜狩場脳神経外科病院	非常勤
理事	教育部	奥原 孝幸	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	広報部	出口 弦舞	国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	福利部	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院	非常勤
理事	地域リハビリテーション部	木村 修介	新緑訪問看護ステーション長津田	非常勤
理事	規約委員会	鈴木 久義	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	福祉用具委員会	沼田 一恵	社会福祉法人横浜共生会 横浜らいず	非常勤
理事	社会保障制度対策委員会	三浦 慈子	国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	ウェブサイト管理委員会	作田 浩行	昭和大学保健医療学部作業療法学科	非常勤
理事	学会評議委員会	内山 博之	横浜リハビリテーション専門学校	非常勤
理事	企画調整委員会	鈴木 孝治	国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科	非常勤
監事		浅井 憲義	自宅会員	非常勤
監事		清宮 良昭	自宅会員	非常勤
顧問		長谷川 元	自宅会員	非常勤

※役員は職場を持っており報酬はありません

※専従職員（パート）数：2名（齊藤・高橋）

平成 25 年度 各部・委員名簿

部署	担当理事・班名等	氏名			部署	担当理事・班名等	氏名		
事務局	担当理事	澤口勇			福利部	担当理事	吉本雅一		
		名古屋和茂	金山桂	芳賀吉朗			西村彰紀	池嶋孝二	畠中佳代子
		大郷和成	渡邊郁美	一志聡子			松岡太一	勝山基史	佐藤莉英子
		河野圭介	南條玲子	本郷悠里			秋山悠	鈴木智	加世田翼
		井戸川由花	平山康一						
財務	担当理事	野々垣睦美			地域リハビリテーション部	担当理事	木村修介		
学術部		机里恵	青木明子			会計	金沢隆之	千田理美	
	担当理事	福留大輔				研修係	足立雄介	小室容子	酒井広樹
	分野別講習 身体障害	鴻井建三	篠田理恵	片岡直人		PSW 合同研修	原島淳	山浦菜穂	青木紀恵
		里原麻衣子	梶原真樹	佐藤慶一			石川千絵		
	分野別講習 精神障害	西前英紀	川口敬之	望永和美		普及係 インタビュー 生活行為向上 ワークショップ	河村晃依		
		佐野生美子	江川純香	斎藤梢			末吉藍	今村美和子	久保田悠介
		岩瀬友香					吉川雅子	高橋茂喜	成田香代子
	生涯教育講座	林慎也	重田明日香				ALS 支援	竹内寛人	
	学術誌	友利幸之介	小河原格也	大野勘太		山道三奈子		佐々木秀一	大寺亜由美
	研究助成	安部剛央	貫久美子	石川哲也	磯朋代	中川翔次			
編集委員		友利幸之介	福留大輔	中西浩司	訪問係	井上亜紀子	遠藤陵晃	柴崎千種	
		森田千晶	三浦慈子	坂本安令		小林大輔	坂内大祐		
		渡邊誠	神保洋平	三川年正	福祉用具	担当理事	沼田一恵		
		埜崎都代子	坂本俊夫	小河原格也		会計	佐谷瑞紀	金原衣理子	
		早川裕子	林純子			委員	網谷麻里矢	岡田雅史	川上新
教育部	担当理事	奥原孝幸			木下剛		田畑雄吉	牧山大輔	
		西尾香苗	本藤広美	山口由花	垣内彩子			山崎あゆみ	
		宮田千恵子	福田舞	大場文	社会保障	担当理事	三浦慈子		
		石井有希	金子康	藤原康子		窪田聡	牛木彩子	小林志帆	
		木村亮太	大塚満沙	荒井裕太		鈴木北斗	清重由子	本村知奈	
関口直也			中野裕理	中野あゆむ					
広報部	担当理事	出口弦舞			ウエブ管	担当理事	作田浩行		
	ニュース班	小峰一宏(班長)		岩瀬このみ			佐藤良枝	大澤彩	福嶋祐子
		桜井大和(会計)		山岡洗			三森夏穂	金子香菜子	水野玲子
	対外広報班	酒井 由香里(班長)			佐藤範明				
	企画長 会計 班員	水野 友和	青木健	佐藤隼	学会	担当理事	内山博之		
		久保田友佳	山田絵美			田中ゆかり	川口美緒	玖島弘規	
		増田理恵	馬場順子	福島ひとみ	佐藤淳				
		渡邊涼子	丸井智子	天野沙織	企画	担当理事	鈴木孝治		
		松本佳代子	額屋文太	竹村祐樹		岩上さやか			
	花形真			担当理事		錠内広之			
全体会計	山本潤			代議員	鈴木孝治	名古屋和茂	金山桂		

各部・委員会の分掌事項

事務局

1. 会員の入退会に関する事
2. 会員名簿に関する事
3. 内外の公文書に関する事
4. 議案書、会議資料、議事録に関する事
5. 会議案内、会議場設営、接待に関する事
6. 総会議事運営に関する事
7. 儀礼関係、内外の来信に関する事
8. 資産の維持・管理に関する事
9. 各種刊行物の発行と保管に関する事
10. その他各部に属しないことに関する事

財務部

1. 予算編成に関する事
2. 会費その他の収入活動に関する事
3. 支出、決算に関する事
4. その他財務に関する事

学術部

1. 会員の臨床能力向上に関する事
2. 会員の実習指導能力向上に関する事
3. 会員の職場管理能力向上に関する事
4. 会員の研究活動推進に関する事
5. 会員の学術的発展に関する事
6. 学術誌編集に関する事
7. その他学術に関する事

教育部

1. 日本作業療法士協会生涯教育制度の推進、運営に関する事
2. 神奈川県内における special interest group (SIG) の認定、管理に関する事
3. その他生涯教育に関する事

広報部

1. ニュース編集・発行など会員に対しての情報発信に関する事
2. 会員外に対する作業療法の広報に関する事
3. その他広報に関する事

福利部

1. 新入会員に対するオリエンテーションに関する事
2. 会員間の交流に関する事
3. 作業療法の発展・推進に寄与した人物・団体等の表彰に関する事
4. 会員の倫理に関する事
5. 神奈川県内の求人・求職に関する事
6. その他福利厚生に関する事

地域リハビリテーション部

1. 地域における作業療法の普及・推進に関する事
2. 地域リハビリテーションにおける他職種・機関・組織との連携に関する事
3. 地域で暮らす障がい者・家族、支援者等との連携に関する事

4. その他地域リハビリテーションに関する事

規約委員会

1. 定款の管理に関する事
2. 諸規則・規程の策定・修正・変更に関する事
3. 法人の登記に関する事
4. 公益認定申請・更新に関する事
5. その他規約に関する事

福祉用具委員会

1. 福祉用具の適性利用・促進に関する事
2. 福祉用具の情報収集・発信に関する事
3. その他福祉用具に関する事

社会保障制度対策委員会

1. 医療保険制度に関する事
2. 介護保険制度に関する事
3. 障害者自立支援法、発達障害者支援法に関する事
4. その他社会保障制度に関する事

ウェブサイト管理委員会

1. ウェブサイトの管理に関する事
2. メールアカウントの管理に関する事
3. その他ウェブサイトに関する事

学会評議委員会

1. 神奈川県作業療法学会の計画に関する事
2. 神奈川県作業療法学会会長の推薦に関する事
3. 神奈川県作業療法学会の適正遂行に関する事
4. 神奈川県作業療法学会との連絡調整に関する事
5. 作業療法学会資料の保管に関する事
6. その他作業療法学会に関する事

企画調整委員会

1. 一般社団法人神奈川県作業療法士会の中・長期事業計画策定に関する事
2. 各部・委員会の事業計画調整と事業報告に関する事
3. 各部・委員会の連絡・調整に関する事
4. その他企画調整に関する事

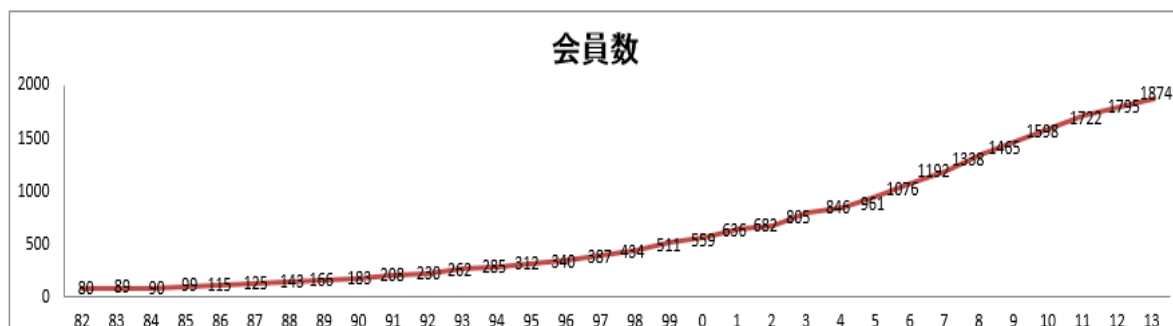
2013年度 神奈川県士会員実態調査結果

2014年2月28日現在

調査は日本作業療法士協会の会員管理システムのデータをもとに、県士会データベースの情報を一部加えて作成した

I 会員データ

13年度現在会員数		1874 名
内訳	施設会員 (常勤)	1642 名
	自宅会員 (非常勤・休業)	232 名



1. 分野別会員数

分野別県士会員数の経時変化

	00年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度
身障	261	289	310	350	410	512	586	656	742	829	902	937	959	1025
精神	99	110	116	120	147	189	215	222	235	260	533	244	244	274
小児	49	54	53	51	51	72	74	81	88	83	80	78	79	101
老人	67	84	94	114	131	258	300	341	389	458	94	260	292	543
その他	0	0	1	1	4	8	8	14	15	20	12	10	9	20
総合*1)	18	15	13	13	10	17	14	13	13	12	21	6	6	10
未回答	66	84	95	156	94	11	19	46	78	103	147	187	206	235

*1)身障・精神・小児・老人の3分野にまたがり主従つかられない

*2)重複回答あり

2. 臨床経験年数別会員数

臨床経験	人数	割合
1～5年目	662	35.3%
6～10年目	581	31.0%
11～15年目	305	16.3%
16～20年目	92	4.9%
21～25年目	77	4.1%
26～30年目	63	3.4%
31年目以上	38	2.0%
不明	56	3.0%
合計	1874	

1～10年目までの内訳

臨床経験

1年目	98	6年目	130
2年目	161	7年目	121
3年目	117	8年目	132
4年目	140	9年目	104
5年目	146	10年目	94

計 1243

3. 年齢別会員数

年齢(歳)	人数	割合
20～24	164	8.8%
25～29	535	28.5%
30～34	438	23.4%
35～39	292	15.6%
40～44	186	9.9%
45～49	99	5.3%
50～54	56	3.0%
55～59	24	1.3%
60～64	15	0.8%
65以上	10	0.5%
不明	55	0.2%
合計	1874	

4. 職場人数ごと施設数の経時変化

単位:施設

	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
1人職場	94	92	105	108	127	170	189	189	217	235	261
2人職場	45	51	55	60	73	67	69	69	86	88	95
3人職場	23	22	26	36	37	36	48	48	49	44	39
4人職場	19	15	26	19	28	32	24	24	31	32	32
5人職場	8	9	12	13	14	17	13	13	20	18	24
6人職場	8	9	10	14	9	12	11	11	10	17	11
7人職場	5	6	10	10	10	6	8	8	11	9	9
8人職場	7	7	6	5	9	5	6	6	6	4	8
9人職場	3	4	3	6	5	6	8	8	5	3	4
10人職場	2	2	2	4	2	6	7	7	6	3	5
11人職場	2	1	1	3	4	8	3	3	1	2	1
12人職場	1		2	1	2	0	2	2	1	5	2
13人職場		2		1	0	2	3	3	6	2	3
14人職場	1		1	2	3	1	1	1	3	3	1
15人職場		1	1	1	0	2	0	0	1	1	1
16人職場			1		1	1	2	2	0	2	1
17人職場	1	1			0	1	0	0	0	1	4
18人職場					1	0	1	1	0	0	0
19人職場	1			2	0	1	1	1	2	1	1
20人以上	2	2	4	3	4	4	6	6	9	11	11
計	222	224	265	288	329	377	402	402	464	481	513

ブロックごとにおける会員数の経時変化

ブロック		単位:人(自宅会員は含まず)										自宅会員含む	自宅会員含む
		03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	9年度	10年度	11年度	12年度		
川崎	川崎市	87	83	91	111	126	146	156	156	167	198	223	
横浜	横浜市	235	243	299	359	403	488	555	583	614	722	750	
相模原	相模原市・城山町・津久井町・相模湖町・鹿野町											129	
横須賀・三浦	鎌倉市・逗子市・葉山町・三浦市・横須賀市	68	64	85	92	91	114	123	124	140	155	183	
湘南	藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町・平塚市・伊勢原市 秦野市・大磯町・二宮町	139	136	143	157	167	195	213	214	243	308	311	
西湖	小田原市・箱根町・湯河原町・真鶴町	24	29	39	41	42	46	52	53	61	71	77	
足柄上	山北町・南足柄市・松田町・開成町・大井町・中井町	3	3	3	3	4	5	0	5	6	9	13	
県央	清川村・愛川町・厚木市・座間市・海老名市・大和市・綾瀬市	81	76	88	94	110	123	131	131	148	174	179	
県北	相模原市・城山町・津久井町・相模湖町・鹿野町	53	54	77	92	93	106	110	105	108	124	0	
県外											34	9	

II 施設データ

1. 施設数の経時変化

(非常勤含む)

	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
施設数	166	188	211	266	291	265	282	315	344	357	394	454	513

III OT以外の資格関連データ

介護支援専門員	129
精神保健福祉士	14

社会福祉士	9
看護師	1
介護福祉士	19
特別支援教育教諭	4
訪問介護員	46
理学療法士	2
市町村障害程度区分審査会審査員	17
市町村介護認定審査委員会審査委員	19
特別支援教育事業に参画している	16

IV 認定作業療法士関連データ

認定作業療法士	33
基礎研修終了者	237
新人教育プログラム修了者	275
専門作業療法士	4

ブロックごとにおける施設数の経時変化

ブロック	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
川崎	27	27	29	34	34	32	36	40	42	42	51	58	70
横浜	46	56	70	94	106	96	108	130	144	152	163	183	213
相模原													37
横須賀・三浦	20	24	23	29	31	27	28	26	29	29	32	38	48
湘南	30	32	37	42	46	42	43	50	57	58	64	71	81
西湖	11	11	10	13	15	11	12	12	12	13	19	23	28
足柄上	1	1	1	1	2	2	2	3	3	3	4	4	7
県央	18	20	22	27	28	26	28	32	36	41	44	49	58
県北	13	16	19	20	22	24	25	21	21	19	23	28	4

**16th International Congress of the World Federation of Occupational Therapists
in collaboration with the 48th Japanese Occupational Therapy Congress and Expo
(第16回世界作業療法士連盟大会・第48回日本作業療法学会)】**

**テーマ：Sharing Traditions, Creating Futures
～伝統を分かち、未来を創る～**

開催国：日本 (WFOT 創立の歴史上初、アジアでの開催になります)
会 期：2014 (平成 26) 年 6 月 18 日 (水) ～6 月 21 日 (土) (4 日間)
場 所：パシフィコ横浜 (横浜みなとみらい 21 地区)
来場予定数：5000 名 (日本 3000 名、海外 2000 名)
大会公式言語：英語と日本語 (※同時通訳ブースもできる予定です)
主催：世界作業療法士連盟、(一社) 日本作業療法士協会

※神奈川県作業療法士会は首都近県 (千葉県、東京都、埼玉県) の県士会とともに、日本作業療法士協会と世界作業療法士連盟が組織する大会組織委員会 Team Japan に、多くの役割が期待されています！共に成功させましょう！



←世界大会の HP です。
<http://www.wfot.org/wfot2014/>

*アクセスしてみてくださいね！

★世界作業療法士連盟とは？

World Federation of Occupational Therapists(WFOT) 世界作業療法士連盟は、世界中の作業療法士及び作業療法のための重要な国際的な代表者と作業療法の促進のための公式な国際機関です。1952年に設立され、現在、WFOTには66カ国の加盟があります。(社)日本作業療法士協会は1972年にメンバーとなりました。

(WFOT ホームページより一部抜粋)

